

平成24年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	北海道大学
申 請 区 分	I
構 想 名	人口・活動・資源・環境の負の連環を転換させるフロンティア人材育成プログラム
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は急速に発展しつつある ASEAN において、人口・活動・資源・環境の諸問題から生まれる負の連環を正に転換する能力を有する「フロンティア人材」を育成することを目的とした国際連携教育システムである。ASEAN をフィールド、日本をラボと位置付ける構想は戦略性が高く、すでに実績のある相手校と学内部局の連携を進展させつつ質保証システムの統一と併せ総合的な仕組みの構築を目指している点で意欲的と言える。その内容はサマースクールから修士論文指導までを含む包括的なもので、フィールド研究力、多様性容認力、開拓力、問題解決力といった概念で人材育成の方向がうまく整理されている。</p> <p>また、大学としてのこれまでの様々な国際プログラムへの参画を通じて、学生の海外派遣、留学生・研修生の受け入れともに豊富な経験の蓄積があり、プログラムの実行において障害は少ない。</p> <p>しかしながら、多くの分野を束ねる総合部局の機能がやや不明確であり、ASEAN の複数国の連携大学だけでなく、学内の多くの部局との効率的な調整に課題が残ると思われる。また、ジョイントディグリーへと発展させるためには、基礎科目から論文指導までを含むカリキュラムが ASEAN の連携校との間で教育理念も含めてどの程度共有できるかなどの課題もある。支援期間終了後の資金計画と併せて、早期の検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	